

# 今ふたたび 海外へ／海外から！ Re overseas

コロナ禍を経て、あらためて行き来がはじまった世界。  
神戸を拠点にさまざまな分野で活躍するみなさんも  
それぞれの目的を持って海外へ。  
そこで見たもの、聞いたこと、口にしたもの、  
出合った出来事について、  
7の方々に執筆いただきました。

久慈達也  
キュレーター／デザイナーリサーチャー

*to Italy*  
イタリア・ミラノ

くじ・たつや ●1978年生まれ、青森市出身。展覧企画や原稿執筆のほか、デザインに関する講演や講座も担当。京都芸術大学非常勤講師。



## 神戸ぐらしはじめました。

17人目

カイ・クリスチャンさん  
(シティネット・プラスアーツ  
クリエイティーブリードナーシップインテーン)

神戸歴:22日(取材時点)



神戸への移住、最近増えているそうです。  
神戸に越して間もないあの人には、気になる質問をぶつけてみました。



Q.どうして神戸？

「神戸を選んだ理由は3つ。1つは神戸の自然です。バンクーバーにも美しい山々や海があり大好きなのですが、神戸のさらに素晴らしいランドスケープに惹かれました。ヴィーナスブリッジがお気に入り。もう1つは、神戸が震災を経験している地であること。私は大学で防災学を専攻していたので、その経験を学ぶには理想的な場所でした。食も欠かせないポイントなので、カフェなど素敵なお店があることも神戸を選んだ理由です。幼い頃、祖母からやきそばやエビフライなどのレシピを教わったので、日本食には親しみがあります。焼鳥、うどん、そば、焼

カナダ・バンクーバー出身、大学でビジネスを専攻。防災に興味を持っていたことから神戸へ。防災に関するプロジェクトのアシスタントスタッフとして、バンコク、マニラ、松山へと飛び回る。週4日ジムに通うアクティブライフを新長田で満喫中。

田村蓮さんの  
神戸めし

八喜為の「さしみ定食」



下町の老舗居酒屋が最近リニューアルされ、店内は明るく広々とした空間に、事務所からのアクセスの良さも相まって、何かにつけて自分へのご褒美として訪れるという田村さんのおすすめは「さしみ定食」。刺身、串カツ、汁物に茶碗蒸しなどが付くびっくりするほどのボリュームなお値段はリーズナブルで、納得のチヨイスだ。外食好きかと思いきや、少し前までは事務所スタッフが当番制で昼食を手づくりしていたのだという。「普段から食べるのがめちゃくちゃ早いです」と話しながら、できたての定食を完食していました田村さんでした。

八喜為 新開地南店【新開地】  
神戸市兵庫区新開地6-1-5 フレール新開地6 105

17.田村蓮さん

(明後日デザイン制作所)  
デザイナー。2022年開催の「ち  
びっこうべ」にはデザイナーチームのクリエーターとして初参加。



5問でわかる  
世界のデザイン都市ガイド

デザイン都市って何？世界の「デザイン都市」担当者に共通の質問を投げかけて解きほぐします。第24回は、世界一の高さを誇る超高層ビル「ブルジュ・ハリファ」や、大規模な人工島「バーム・ジュメイラ」など、常識を超える建造物や景観が魅力のドバイから。

Q1「ここぞデザイン都市！」と  
いうスポット / Q2ドバイのまち  
を舞台にした作品のおスメ  
/ Q3最近、一番驚いたこと /  
Q4ハマっていること / Q5デザ  
インをひと言でいえば

Vol.24 アラブ首長国連邦・ドバイ | Dubai

1 d3として知られる「ドバイ・デザイン・ディストリクト」です。ドバイ・デザイン・ウィークも開催されるd3は、ギャラリーやアートスタジオに囲まれているだけでなく、各国の一流料理が楽しめる食のハブにもなっています。

2 大都市を舞台に3人の運命が交錯するアリ・F・モスタファ監督の映画「City of Life」です。緻密な脚本が素晴らしく、主人公たちの複雑な感情を炙り出すとともに、人生の希望と絶望を描き出しています。

5 デザイン=Functional(機能的)

Q 答えてくれた人

Khulood Khooryさん

母親であり、デザイナーであり、そして創造的・文化的産業を支援するドバイ文化芸術庁プロジェクト・イベントディレクターです。ドバイのクリエーターや才能ある人たちと一緒に働き、サポートすることを心から楽しんでいます。



今号のデザイナー | bankto LLC. | 「編集」という職能をベースに、戦略設計・コンテンツ・デザイン・エンジニアリングをカバーする、京都のクリエイティブ・ファームです。

KIITO NEWSLETTER

VOL.037

2023年8月発行

「KIITO NEWSLETTER」は、  
デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)が  
年4回発行する情報誌です。  
センターのコンセプトである+クリエイティブな  
活動を発信していきます。

発行:デザイン・クリエイティブセンター神戸  
編集:竹内厚、KIITO出版部  
デザイン:吉田健人(bankto LLC.)

KIITO:

ACCESS

阪急・阪神神戸三宮駅、JR三ノ宮駅より  
フランコロードを南へ徒歩20分  
国道2号線を越えた神戸税関東向かい  
神戸市営地下鉄海岸線三宮・花時計前駅より徒歩10分  
ポートライナー貿易センター駅より徒歩10分  
連節バス「Port Loop」KIITO前下車すぐ

CONTACT

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4  
TEL: 078-325-2235  
E-mail: info@kiito.jp  
開館時間: 9:00~21:00  
休館日: 月曜日(祝日、振替休日の場合はその翌日) 年末年始12/29~1/3  
<https://kiito.jp/>



KIITO:  
今ふたたび  
海外へ／海外から！  
Re overseas

KIITO NEWSLETTER

037



[連載企画]

神戸ぐらしはじめました。

○○さんの神戸めし:田村蓮さん

世界のデザイン都市ガイド[ドバイ]

JPUK FIRMS



# to Nepal

ネパール・カトマンズ

永田 宏和  
KIITOセンター長／アーツ理事長

ながた・ひろかず●2021年よりKIITOセンター長を務める。プラス・アーツでは、JICAや国際交流基金と協働して世界23ヵ国でのプロジェクトを展開してきた。



# to Thailand & New Zealand

タイ＆ニュージーランド

自國ならではの味覚に目を向けて

フェリシモで展開している、世界のローカルチョコレートを集めたカタログ「幸福のチョコレート」のバイイングで、タイとニュージーランドに行ってきました。この仕事に就いてから海外へ行くのは初めてでしたが、アジアのチョコレートの勢いに驚きました。気温が高くカカオが取れる国だからというのもあるんですけど、すごくクオリティが高いです。それにニュージーランドでは、Jelly Tip (ニュージーランドの昔ながらのアイスクリーム)味や、フラットホワイト (ニュージーランド発祥の)



渡辺明奈  
株式会社フェリシモ 新事業開発本部

# 山崎吾郎

大阪大学COデザインセンター教授

アフターコロナの海外実習

2019年末のCOVID-19流行以降、学生を海外に派遣する教育プログラムは久しくオンラインでの実施に制限されていました。2022年に入り再開の目途が立ったことから、2022年度の10月と3月に、私たちはインドネシア・バリを訪れる機会を得ました。出国時にワクチン接種証明やアプリでの事前認証を求められるなど、危機管理の意識は否応なく高まっていました。実習中に感染者が出ればスケジュールは大幅な変更を余儀なくされるため、事前準備にも異例の力があります。そのため、いざ活動がはじまると、日本国内で感じていた緊張感と現地の様子のギャップに戸惑いを感じることになりました。「マスクをつけているのは日本人だけだよ」と行く先々でこやかに話しかけられ、私たちも滞在中はほとんどマスクを着用しませんでした。

バリは観光を主要産業とする島であり、美しい自然に

# to Indonesia

インドネシア・バリ

渡航中止勧告エリアでの国際会議

国際的なオーガニック農業に関する啓蒙団体「IFOAM」のアジア支部カンファレンスに、ダメもとで応募したところ、なんと審査が通った! とのことで参加してきました。開催場所はミンダナオ島の中部。到着したカガヤン空港では会議スタッフから熱烈歓迎を受けて安心したのも束の間、会場までの過酷な移動が始まる。マイクロバスでガタガタ道を進み始め、なんだん爆走モード

私たち3日目に、EAT LOCAL KOBEでの都市と農村を繋げる活動を発表した。その後、スリランカ、インド、韓国、台湾、フィリピンなど、様々な国の方々と話をして、有機農業を広げるために各国で同じような地道な努力が行われていることを知った。そして、有機農業を広めるために特効的な施策はなく、神戸の我々の身の回りでも行われているような地道な行動の積み重ね(農家・消費者・小売店との関係作り、機械の小規模化、行政と民間の協力など)、そこにしか平和と繁栄への道はなく、その先にこそ楽しく明るい未来が待っているのだろうと感じた訪問だった。

5日間の会議で特に印象的だった事柄は、冒頭の白バイ先導によるバス激走移動と大きな関連がある。実はここ数年、東中で弱体化したイスラム国 (IS) がこのエリアに入り込み、政府軍との内戦が繰り広

コーヒー味など、その現地での食材や文化を大事にしている印象もありました。きっと、コロナ禍を経たことが自分の国の特徴に目を向けるきっかけにならなかったんではないかなと思います。これからは、このコロナ禍で深まった自国の文化が広がっていったり、そこから新しいものが生まれていったらおもしろいなあと思いますし、私たちもチョコレートを通して世界の文化を伝えていけるように頑張っていきたいと思います。

わたなべ・はるな●2021年9月フェリシモに中途入社。  
入社後、フェリシモ チョコレート ミュージアムの企画・運営業務や、海外のローカルチョコレートを集めた人気カタログ「幸福のチョコレート」の運営に携わる。

# to Philippines

フィリピン・ミンダナオ



やまとぎ・ごろう●1978年生まれ。大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(人間科学)。専門は文化人類学。主な著書に『わっかいな問題はみんなで解く』(共編著、世界思想社)など。

①訪問先のクレチュン村風景  
②デンバサール国際空港の検疫で④朝からにぎわう地元のマーケット

# ゲントでの充実したレジデンス現場から

ニューヨーク、ゲントにあるArt Omiというアーティスト・イン・レジデンスに来て2週間が経ちました。このレジデンスは、期間は約1ヶ月、アメリカも含めて様々な国からアーティスト22名、キュレーター2名の総勢24名が選ばれています。宿泊場所、毎食の食事もついていて、制作に集中する合宿のようです。スタジオでの日々の制作に加え、1週目はフィールドトリップ、そして2週目は、招かれたキュレーター、批評家、アーティストと作品について話すスタジオビギット、そして、滞在の最後にはオープントジオが行われます。私が経験したレジデンスの中でも、ここまでしっかりしたプログラムが組まれているところは珍しく、アーティストにとって重要なネットワークが持てるようによく考えられています。

# to America

アメリカ・ニューヨーク

いながき・ともこ●神戸市塩屋在住。作品は映像インストレーション、パフォーマンスなど。国内外の展覧会、レジデンスの経験多数。現在、神戸・岡本にOAG ART CENTER KOBEを再開のため準備中。

①スタジオでの制作風景  
②キュレーターのプレゼンテーションを聴講  
③他のアーティストとフィールドトリップ  
④スタジオのあるBarn

# from France to Kobe

マルセイユ／神戸

初めての日本で神戸に滞在。すべてが新しくて面白くて、右を見ても左を見ても学ぶことばかりです。目をつぶっていても、まちにあふれる音だけで異国にいることを実感します。神戸に着いた翌日、同じレジデンス(AirRK)に滞在していたアーティストの鈴木将弘さんのワークショップに参加しました。会場は、かつて市場だった場所(稻荷市場跡)で、空き地と小さな家、駄菓子屋などのお店もあって印象的でした。その近くにある「お好み焼き ひかり」でひかりスペシャルを食べました。フランスと違って、日本では人と人が尊重して生きている、周りの人のことをよく考えている印象を受けました。

じゅり・ふおるにえ●マルセイユにあるビジュアルアートとアーティストブックの研究室・共同ディレクターを務める。2023年7月に、KIITOとのプロジェクト、展覧会のために同じくディレクターの佐藤文香と来日。神戸とマルセイユをつなぐ、アートプロジェクトの様子はKIITOのHPにて。

# ジュリ・フォルニエ

アトリエ・ビザビ

こいづみ・ひろあき●2010年「自転車10分圏内のエリアディベロメンツ」を志向し、有限会社ルーシーをスタート。最近は農村、山、街を行き来し、自ら野菜づくりにチャレンジしている。



①

2022年6月はカナダ、ウイニペグでアーティスト滞在した際は、いまだコロナ禍の影響を感じましたが、ここではコロナについてはもうほとんど意識することはないです。日本の外に出る開放感、異なる社会や文化に触れることが快さを実感しています。

アート以外の楽しみとしては、海外のレジデンスに滞在するときは、地元のヨガクラスに通っています。いろんなヨガが経験できて海外渡航の楽しみの一つです。ここではアーティストが自動的に行うヨガクラブに参加していく、アート的なヨガマインドが堪能できるうれしいです。

+クリエイティブゼミVol.39

リサーチャー養成編「リサーチ・リテラシーを学ぶ」

例題4:商店街の空き家をテーマにしたゼミ

開催日:2023年6月20日(火)～7月25日(火)

全7回

会場:デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)

主催:デザイン・クリエイティブセンター神戸

※詳細はKIITOウェブサイトをご覧ください。



## News

### 多世代で取り組む活動の種づくりイベント開催!

フラワーロードを中心に施設間連携を行っている「さんぽみや」をはじめ、各パートナーと協力しながら、地域活動へつながる様々なプログラムにチャレンジします。対象は、子どもや大学生、社会人などあらゆる世代。一過性のイベントではなく、これをきっかけに活動の種が地域に芽吹いていくことを目指し取り組みますので、ぜひご参加ください!



### ライフ・イズ・クリエイティブ フェス

開催日:2023年10月8日(日)、9日(月祝)

会場:デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)、他

主催:デザイン・クリエイティブセンター神戸

※詳細はKIITOウェブサイトをご覧ください。

## Report

### 神戸に根差したローカルビールの魅力を味わう

地域密着型ブルワリー「IN THA DOOR BREWING」を運営する中戸正親さん、中村美夏さんをゲストにお迎えし、ローカルビールをテーマにトークを開催。参加者はIN THA DOOR BREWINGとKIITOとの協同企画で生まれたビール「KIITO CRAFT」を味わいながら、地域に根差したビールづくりへの想いや取り組みについてじっくりお話を伺いました。

「KIITO CRAFT」は1F KIITO SHOP、KIITO CAFEで販売中です!



### KOBE LOCAL BEER TALK

開催日:2023年7月5日(水)

会場:KIITO CAFE

講師:中戸正親、中村美夏

(IN THA DOOR BREWING)

インザドア合同会社

主催:デザイン・クリエイティブセンター神戸

協力:インザドア合同会社